

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	進行食道癌における炎症性マーカー推移が予後に与える影響の探索
	研究対象者	進行食道癌と診断された患者さんのうち、2011年1月から2020年12月の間に神奈川県立がんセンターで術前化学療法後に食道癌手術を受けられた方で、包括同意を得られた方。
	研究目的	各種炎症性マーカーや栄養指標は術後の予後との関係については、いくつかの癌腫において報告が散見されていますが、食道癌においては明らかではありません。この研究では、当院で手術を施行した進行食道癌患者において、炎症性マーカーによりグループ分けし、予後との関係を後方視的に検討致します。
	研究方法	当院における食道癌術後患者 200 症例の炎症性マーカーや栄養指標と長期予後を後方視的に解析し、炎症性マーカーの推移と長期予後の関連を検証します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 7 月 7 日 ~ 西 暦 2 0 2 6 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載:_____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[X]看護記録、[]その他(具体的に記載:____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	消化器外科 兼松恭平
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター消化器外科・兼松恭平・045-520-2222 利用停止のお申し出は 2025 年 07 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	